

- 6月6日 沖繩連帯京都集会 (13:30円山)
- 6月13日 戦争立法阻止集会 (午後、円山)
- 6月14日 全労連初級労働学校開講式 (13:30ラポール)
- 6月21日 平和行進 (12:30山科ラクト公園)
- 7月4日 働き方を見直す集会 (ラポール)
- 7月11日 京都市内網の目行進
- 7月23日 争議激励ビアパーティ (18:30おたや)
- 7月27日 最低賃金引き上げを求める昼デモ&請願行動 (12:20御射山公園)



京都総評

京都地方労働組合総評議会：発行

第 204 号

発行所
 京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階
 京都地方労働組合総評議会 (京都総評)
 電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149
 E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/
 <発行責任者> 吉岡 徹 <編集責任者> 吉岡 勝

京都労働相談センター
 電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp



第86回 全京都統一メーデー

働くものの団結で、生活と権利、平和と民主主義を守ろう

戦争立法 NO!



第86回全京都統一メーデーは5月1日京都市二条城前で開催され、8000名が参加しました。主催者を代表して吉岡徹実行委員長があいさつ(別項)。来賓あいさつとし、日本共産党京都府委員会穀田恵二衆議院議員、新社会党京都府本部小西晴也書記長、福井・明通寺住職・福井から原発を止める裁判の会の中島哲演代表、自由法曹団京都支部幹事長の中村和雄弁護士があいさつをおこないました(二面参照)。また、京都府知事、京都市長のメッセージが紹介されました。争議団が紹介され、代表してJAL不当解雇撤回争闘小森さん、全厚生闘争団川口さん、福祉保育労青いとり分会北垣さんがそれぞれ決意表明。大会宣言を採択し、3コースに分かれてデモを実施しました。府内では11ヶ所で実施され約4000名が参加しました。



メーデー大会主催者あいさつ(要旨) 吉岡徹大会実行委員長

今春闘ではすべての労働者のふところをあたためて、地域から元気に含言葉に賃上げを勝ち取ろうとたたかってきました。しかし、中小企業では昨年を下回っており、これは、地域経済の表情とアベノミクスの結果です。安倍内閣は、残業代ゼロ法案などを国会に提出し、労働者の過労死を促進するような稀



5・3憲法集会

戦争する国にしない、させない

3000人以上が参加



講演する柳澤協二氏

憲法9条京都の会は、5月3日、京都市・円山音楽堂で5・3憲法集会を開催。北は丹後から南は相模まで、府内全域から3000人を超える参加者で会場はいっぱいとなりました。安倍政権が集団的自衛権行使容認の法整備をする重大な時期に開催された集会は、戦争立法を阻止しようとの決意があふれた集会となりました。また、集会では戦争立法を阻止するため、総結集をはかっていくことがよびかけられました。



安倍内閣による戦争立法が重大な問題となる中、憲法9条京都の会がよびかけた9の日宣伝が5月9日府内全域で実施されました。憲法9条京都の会は祇園石段下で

府内全域で9の日宣伝

60名の参加で行うとともに、府内約26ヶ所で地域の9条の会が宣伝を実施しました。京都総評は四条大宮など市内3ヶ所で各単産が参加して実施。京都総評女性部は祇園石段下で実施しました。京都自治労連は北部からキャラバンを実施し京丹後市など4自治体で宣伝行動をおこないました。また、府職労連が南部キャラバンを実施し3ヶ所で宣伝を行いました。京都市職労は市内2ヶ所、京教組が府内5ヶ所、京建労が3日に実施など、府内全域で行われ、約250名が参加。1500冊以上の憲法手帳やちらしを配布しました。

戦争立法阻止へ 総結集よびかけ

「9条を生かした安保政策こそ世界から信頼される日本のブランド」「改憲派も戦争はいやだと思っている。一致する幅を広げていきましょう」とよびかけました。

集会では、続いて茂山あきらさん(京都の会)、世話人・茂山童司さんが狂言「柿山伏」を演じ、会場の大

る社会」「軍隊と同じ武器を使うようになるのは、自衛隊の振る舞いが軍隊になること」「しわよせは現場に行く」「武器使用がなかったサマワへの派遣された自衛隊員の自殺は29人となったが、武器使用したらもっとひどくな

また、判決は、「年金機構が採用を希望する職員全員を採用しなかったのは、外部から優秀な人材を採用するためであり、年金機構法に職員継承規定が置かれなかったのは、業務に相応しくない社保庁職員が漫然と機構に移ることを防ぐため」と認められること、社保庁職員に対する偏見とも言える認識で結論が出されたというまったく不当なものです。

今回の大阪地裁判決が控訴審でも是認されれば、「公務員には人権はない」ということになってしまいます。大阪高裁で勝訴判決を勝ち取り、全員を職場にもどすために、世論と運動、支援の輪をこれまで以上に大きく広げていきましょう。

大阪地裁が不当判決 運動をいっそう広げ、高裁で必ず勝利しよう！

旧社会保険庁職員 不当解雇撤回裁判

旧社会保険庁職員の不当解雇撤回を求め、全厚生の15人が裁判でたたかっている京都府事案について、3月25日に大阪地裁は、原告の請求棄却の不当判決を言い渡しました。

判決は、①について、国の組織の在り方については、国会が撤回を求め、全厚生の15人が裁判でたたかっている京都府事案について、3月25日に大阪地裁は、原告の請求棄却の不当判決を言い渡しました。

また、判決は、「年金機構が採用を希望する職員全員を採用しなかったのは、外部から優秀な人材を採用するためであり、年金機構法に職員継承規定が置かれなかったのは、業務に相応しくない社保庁職員が漫然と機構に移ることを防ぐため」と認められること、社保庁職員に対する偏見とも言える認識で結論が出されたというまったく不当なものです。

今回の大阪地裁判決が控訴審でも是認されれば、「公務員には人権はない」ということになってしまいます。大阪高裁で勝訴判決を勝ち取り、全員を職場にもどすために、世論と運動、支援の輪をこれまで以上に大きく広げていきましょう。



5月3日円山音楽堂

元内閣官房副長官補の柳澤協二さんが講演。自ら小泉内閣時代にサマワに自衛隊を派遣した経緯などをふまえ、安倍内閣が進める戦争立法を強く批判。「自衛隊の仕事の中心身が変わる。武器を使用する」ということは相手も撃つという「サマワ派遣では、仮に1発打てば100発返ってくる

「6条を生かして」 (柳澤さん)

オープニング企画では、おもちや楽団、京都子どもを守るうた合唱団などのみなさんが登壇し、歌などで平和や戦争NOを訴えました。開会あいさつは憲法9条京都の会の世話人のお一人である垣田さち子さん(京都府保険医療協会理事長)があいさつ。続いて社会民主党、新社会党、日本共産党、緑の党グリーンズジャパンの各政党が連帯あいさつ。真宗大谷派・東本願寺を代表して寺田正寛さんが集会へのメッセージとしてあいさつをしました。



判決報告集会。4月17日ラポール京都ホール

判決は、①について、国の組織の在り方については、国会が撤回を求め、全厚生の15人が裁判でたたかっている京都府事案について、3月25日に大阪地裁は、原告の請求棄却の不当判決を言い渡しました。

また、判決は、「年金機構が採用を希望する職員全員を採用しなかったのは、外部から優秀な人材を採用するためであり、年金機構法に職員継承規定が置かれなかったのは、業務に相応しくない社保庁職員が漫然と機構に移ることを防ぐため」と認められること、社保庁職員に対する偏見とも言える認識で結論が出されたというまったく不当なものです。

今回の大阪地裁判決が控訴審でも是認されれば、「公務員には人権はない」ということになってしまいます。大阪高裁で勝訴判決を勝ち取り、全員を職場にもどすために、世論と運動、支援の輪をこれまで以上に大きく広げていきましょう。